



**支路ノ駅 浦和宿 浅間山遠望**  
 溪斎英泉画。浦和台地あたりからの遠景。噴煙を吹き上げる浅間山や、赤褐色の関東ローム層の地層が見える。



**15 埼玉県立文書館**  
 さいたま市浦和区高砂4丁目  
 埼玉に関する、価値ある古文書や行政文書、地図などを収蔵。閲覧室が設けられ、各種講座や講習会も開催されている。

**浦和宿**  
 日本橋からの距離  
 6里6町 (約24km)  
 家数：273軒  
 人口：1230人  
 本陣：1軒  
 脇本陣：3軒  
 旅籠屋：15軒



**13 つきしんじゃ 調神社**  
 さいたま市浦和区岸町3丁目  
 権現造りの社殿は安政6年(1859)に建立。別名調の宮(月の宮)ともいわれ鳥居がなく、狛犬のかわりにうさぎの石像が置かれている。

**中山道まめ知識**

**なぜ浦和には、うなぎの店が多いのだろうか？**  
 江戸時代、浦和近郊は沼地が多く、川魚が多く生息する水郷地帯。魚釣りなどを楽しむ乗客で賑わい、沼地で捕れたうなぎを客に出したのが始まり。水田耕作のため地場のうなぎは姿を消したが、蒲焼きの味は受け継がれている。



**14 きょくぞういん 玉蔵院**  
 さいたま市浦和区仲町2丁目  
 平安時代に弘法大師により開かれた古刹で、市の有形文化財に指定されている。春には壮麗な姿を見せる枝垂れ桜の見物客でにぎわう。





**16 浦和本陣跡**

うらわほんじんあと

さいたま市浦和区仲町2丁目

仲町公園内に一部保存されており、明治元年(1868)に明治天皇の行在所になったことを示す碑が建っている。表門は大間木に移築。



**浦和十二日まち**

12月12日に調神社(つきじんじゃ)で行われる。その名のとおり「ツキを呼ぶ神社」として、境内を中心に縁起物の熊手などの露店が立ち並び、人出で賑わう。



**17 慈恵稲荷**

じけいいなり

さいたま市浦和区常盤1丁目

にぎわいを見せた浦和宿の市場跡を示す石碑の後ろに位置する。「袖鏡」に、『宿の内、左にいなりの社あり』とうたわれている社だ。



**18 廓信寺**

かくしんじ

さいたま市浦和区北浦和3丁目

本堂や地蔵堂、鐘楼などをもち、鎌倉時代頃の造像である木造阿弥陀如来像や、市の天然記念物指定のカヤの木などで知られる。

**中山道まめ知識**

**古記録にその名を残す 由緒ある浦和宿**

応永3年(1396)にすでに古記録に登場。戦国時代には市が立つなど、古い歴史をもつ。旅籠の数は少ないものの、本陣は大きな規模をもち、現在は一部が公園となっている。「明治天皇行在所跡」の石柱もあり、その格式を伝える。



**19 一本**

いっぽんす

さいたま市浦和区

街道の左脇にこのあたりには水戸藩士が建てられている。



氷川神社

中山道まめ知識

約3万坪の氷川神社は  
荘厳な「武蔵一の宮」

「武蔵一の宮」として親しまれ、関東にはこの大宮を中心に、200以上の氷川神社が存在する。その昔、街道としても利用された参道からは、一の鳥居、二の鳥居、楼門、本殿、舞殿など、約3万坪の広大な境内が広がる。



中央区

さい

上落合小

与野東中

下落台小

けやきひろば

さいたま  
スーパーアリーナ

さいたま新都心  
合同庁舎  
関東地方整備局

さいたま  
しんとしん

さいたま新都心  
郵便局

安藤  
氷川神社一の鳥居

さいたま市

大宮

中山道まめ知識

氷川神社と共に歩んだ  
長い歴史の大宮宿

縄文遺跡が残されるほど歴史が古く、また5街道全宿場の中で唯一、脇本陣が9軒もあった。宿は南北に50町(約5.5km)、東西に34町(約3.7km)という規模で、その後は氷川神社を中心に、宿場町・市場町・門前町として栄えた。

21 おしぞう  
塩地蔵

さいたま市大宮区吉敷町1  
その昔、2人の娘と旅人が病に倒れ、父を「塩断ち」をしたとい伝わる。隣には子育て

20 けやきなみき  
ケヤキ並木

さいたま市浦和区上木崎2丁目あたり  
約200本の大きなケヤキが1.5km続く並木道。これは昭和42年(1967)に埼玉国体開催を記念して、松並木の跡に植樹したものの。

杉の標石

杉の標石  
和区針ヶ谷3丁目  
に立つ「一本杉」の碑。  
は文久4年(1864)に、  
が仇討ちをした場所とい



上木崎小

足立神社公園

大宮中

足利代親水西流





たま新都心



**木曾街道 大宮宿 富士遠景**  
 溪斎英泉画。土手村からの富士山と武甲山の眺め。左手には庚申塔が建つ。



**23 東光寺**  
 どうこうじ  
 さいたま市大宮区宮町3丁目  
 大栄橋交差点右手に位置する曹洞宗の社寺。紀州の僧・東光坊が関東に来て、黒塚の悪鬼を呪伏し、坊舎を建てたのが始まりとされる。



**24 土手町の椎の木**  
 どてまのしいのき  
 さいたま市大宮区土手町1丁目  
 JA共済ビルの先に立つ2本の椎の木は、街道筋の目印としてよく知られた存在。かつて旅人が木陰で疲れを癒した光景が想像できるよう。



をしていた浪  
 救うため娘が  
 の伝説が今に  
 地蔵が建つ。



**22 さいたま市立博物館**  
 さいたましりつはくぶつかん  
 さいたま市大宮区高鼻町2丁目  
 氷川参道の木立に囲まれた、歴史博物館。郷土の資料が年代順に展示、紹介されている。大宮宿の復元模型もある。

|         |               |
|---------|---------------|
| 大宮宿     | 日本橋からの距離      |
|         | 7里16町 (約29km) |
|         | 家数：319軒       |
|         | 人口：1508人      |
|         | 本陣：1軒         |
|         | 脇本陣：9軒        |
| 旅籠屋：25軒 |               |

さいたま市立博物館 22

大宮東小



資料館の利用案内

戸田市郷土博物館

- 戸田市新曽1707 ● TEL 048-442-2800
- 開館時間 10:00~16:30 ● 入館料 無料
- 休館日 月曜日(休日を除く)・休日の翌日(土曜日・日曜日・休日を除くただし、全曜日・土曜日が休日のときは翌週の火曜日)・年末年始・毎月末日(土曜日・日曜日・休日を除く)

蕨市立歴史民俗資料館

- 蕨市中央5丁目17番22号 ● TEL 048-432-2477
- 開館時間 9:00~16:30 ● 入館料 無料
- 休館日 月曜日・祝日・年末年始・毎月末日(月曜日が祝日の場合は翌日も休館)

埼玉県立文書館

- さいたま市浦和高砂4丁目3番18号 ● TEL 048-865-0112
- 開館時間 9:00~17:00 ● 入館料 無料
- 休館日 月曜日・祝日・年末年始・毎月末日(月曜日が祝日の場合は翌日も休館)

さいたま市立博物館

- さいたま市大宮区高鼻町2丁目1番2号 ● TEL 048-644-2322
- 開館時間 9:00~16:30 ● 入館料 無料
- 休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始



26 おおやまたけさんどうひょう  
大山御嶽山道標

さいたま市北区東大成町1丁目

安政7年(1860)建立の道標で、「大山 御嶽山よの引又 かわ越道」と彫られている。往時の信仰の道であったことを示す。



27 やおひめだいみょうじん  
八百姫大明神

さいたま市北区東大成町1丁目

人魚の肉を食べて800歳まで生きたとされる伝説の八百比丘尼(やおびくに)がしばらく滞在した場所とされ、石碑が今も残っている。



28 いそのかみじんじゃ  
石上神社

さいたま市北区東大成町2丁目

赤い鳥居と石柱が目印。疱瘡の神様として古くから民間信仰が盛んであった。こぢんまりした空間で、ひと息つくのにも最適。



25 ひかわじんじゃ  
氷川神社

さいたま市大宮区高鼻町4丁目

2km以上の参道を抜けると、楼門と本殿が姿を現す。8世紀頃には「武蔵一の宮」と定められ、大宮の町は門前町として発達した。



大宮中山道まつり

氷川神社の例大祭にちなみ、毎年8月の1・2日に行われる。中山道や大宮駅を中心に、神輿御渡や山車巡行、民謡パレードなどが華やかに催される。